

# EDANA・INDA スロッシュボックス崩壊性試験 試験運用の為のガイドライン

## 1. 目的

本ガイドラインは EDANA・INDA トイレに流せると標榜する不織布製品の評価に記載している FG502 スロッシュボックス試験の試験方法ならびに報告書作成について、日本国内の試験機関での運用に対し補足するものである。

なお海外の試験機関においては別途試験内容・結果等を確認の上判断する。

## 2. 試験機関

(一社) 日本衛生材料工業連合会が定める認定試験機関にて試験を行う。具体的には EDANA・INDA の定める試験装置 Lenzing Instruments 社製 SLOSH BOX 100 を使用する機関とする。

新規認定試験機関においてはスロッシュボックス試験を実施し、試験結果の同等性を確認する。また 2 年に 1 回は相互に試験を実施し試験結果の同等性を確認する。

## 3. 試験サンプル

認定用の試験サンプルは (一社) 日本衛生材料工業連合会が定める。

## 4. 試験報告書

試験報告書には試料を特定するため試験品名、試験項目、試験実施日を記載する。また試料の写真を添付する。

試験方法は

- (1) 試料の初期乾燥質量の求め方
- (2) スロッシュボックス試験条件
- (3) ふるい上にある残留片の乾燥質量の求め方
- (4) 崩壊率の算出方法

を記載する。

試験結果は

- (1) 試料の初期乾燥質量
- (2) ふるい上にある残留片の乾燥質量と崩壊率
- (3) 試験実施中の水温

を記載する。

また各試料の崩壊後の水槽の写真を添付する。

## 5. 試験測定結果

繰り返し試験を実施して試験数の 80%以上で崩壊率が 60%以上であることとする。

## 6. 本試験と各社製品出荷判定

出荷判定ごとに本試験を確認する必要はないが、出荷された製品が申請内容と変わらないように管理する。

## 7. 認定試験機関

一般財団法人 日本文化用品安全試験所

〒130-8611 東京都墨田区東駒形 4-22-4 TEL:03-3829-2516 FAX:03-3829-2595

担当窓口：東京事業所 営業部 (E-mail : info@mgs.or.jp)

以上